

4/1(土)まとめ

## 基本の授業の流れ(90分)

① 小テスト(10分間)

↓

② 宿題解説(※やってない宿題は絶対に授業中にさせないように！)

↓

③ 授業

↓

④ クリアテスト返し(授業終了5分前)

↓

終了

### ① 小テストについて

#### **改善点**

・クリアテストから小テストへ

→10分でクリアテストは無理。レベルが高い

・数学はクリアテストから抜粋。英語は別途、単語テストを作成。(どちらも10分で終わるもの)

・生徒の机にあらかじめ伏せてテストをおいておく

・合格ラインは割合で。

→問題によって問題数が違う

#### **↓結果**

・毎回の授業で実施

・終了時間になったら回収→自習サポートへ

・8割合格。不合格と遅刻は居残りor追加授業

・授業終了前にテスト返却。ファイルへ。解説はなし

・クリアテストも間に遅刻を自習サポートに報告

・数学はクリアテストから抜粋。英語は別途作成の小テスト。(10分でできる物)

・生徒が来る前に机においておく

## ② 宿題について

### 改善点

・3回忘れ連絡はなし

・宿題は生徒に丸付けまでさせる

→やりっぱなしをなくす。

ワークの答えは塾にしか置いてない=塾に来ないと丸付けできない

↓

来たついでに自習する生徒が増えるかも？

自分で丸付けが嫌な生徒は来た時に自習サポートに丸つけしてもらう

or

わざわざ来たくない場合は数学の宿題は英語の授業に来た時についでに丸つけ

・必ずプリントのものを渡す(フォレストはコピー)

・英語は単語暗記も宿題に

### ↓ 結果

- ・やってない宿題は絶対に授業中にはさせない
- ・宿題の解説に時間をかけすぎない(時間がかかりそうな箇所は自習へ)
- ・やってない宿題は残って終わらせる
- ・丸付けまでが宿題
- ・宿題はプリント形式のものをだす
- ・英語は単語暗記も宿題

### ③ 授業について

#### 改善点

- tryは全部ではなく抜粋  
→授業内でプリントまで終わらせたい
- フォレスタ進行表も復活  
→フォレスタ使うなら欲しい
- ワーク三回はテスト1週間前までに終わらせる  
→残りはkeywordsテストやクリアテストへ

#### ↓結果

- 新しい単元はフォレスタで説明→try(抜粋)残りは宿題でもok
- ワークはテスト1週間前までに3回  
進行表に記入忘れず
- 生徒とのコミュニケーション大事

#### ファイルについて

生徒が持つように新しいファイルを作成。定期テスト毎に中身を入れ替え  
中身の内容は

- 毎回のクリアテスト
- 授業でのワークのプリント  
→この2つは自分の苦手なところや、出来るようになったところを本人がいつでも確認できるようにするため。保護者が塾で何をしているのか見えるようにするため
- 保護者へのお知らせ(春期講習など)
- 宿題  
→なくさないように
- 入退室カード  
→ファイルを持ってくるのを忘れないようにするため

## その他

### ・弦巻先生

入退室カード使ってた

全てポイントで管理。ポイントたまったら図書カードなり・

遅刻・宿題忘れはポイントなし

小テストもポイントに入る

テストの結果がよくない人には別の日に来てもらったり

授業内で単語をする意味は？文法中心にやったほうがいいのか

定期的に(テストの後など)2者や3者で面談を。

→何をやってるかわかる

親と塾と子供のズレをなくす

そこで遅刻だったり、宿題忘れを報告

### ・成川先生

宿題は2回連続で残り

### ・戸田先生

英語は学校の本文も扱いたい

どの学校がいつからテストなのかを把握しておく

定期テストの内容把握

テストは点数だけでなく、定期テスト自体もってきてもらいたい

実施は春期開けの再来週から

準備するもの

ファイル

英語単語テスト

各チェック表

フォレスト進行表

